

■東福門院(徳川和子) とうふくもんいん 家康駿府退隠1607＝	後水尾天皇の中宮。將軍の娘から皇后になった唯一の女性で、生涯寄り添い、国母であり続けた。江戸城で、浅井長政の娘お江与(崇源院)を母に、_2代將軍徳川秀忠の五女に生まれる。千姫の妹。
島津琉球支配1609＝ 2歳 琉球使始・・・1610＝ 3歳 山田長政渡航1611＝ 4歳	この年、後陽成天皇が讓位の内意を徳川家康に伝え、この年、幕府は了承するも、讓位延期を奏請して、政仁親王元服させ、この年、家康が上洛して差配するなか、政仁親王が後水尾天皇として即位すると、徳川幕政初期の不安定な朝幕関係の絆ぎとなるべく、入内の話が現実味を帯び始め、
大坂冬の陣・1614＝ 7歳 大坂夏の陣・1615＝ 8歳 徳川家康没・1616＝ 9歳	この年、朝廷から出された入内の内旨を家康が受諾。この年、禁中井公家中諸法度公布。この年、家康の死去に続いて、後陽成上皇も死去。
・・・・・・1618＝11歳 菱垣廻船始・1619＝12歳 支倉常長帰国1620＝13歳	翌年入内することが決定したらしい。この年、後水尾天皇に第一皇子賀茂宮が誕生。第一皇女梅宮誕生後、幕府介入嫌う天皇が讓位の意向示すも、親天皇公家衆が処罰されて止まり、上洛し、従三位に叙せられ、_入内し後水尾天皇女御となる。天皇の母中和門院と対面。この間、_中和門院の配慮行届いてか、天皇が和子を受入れ、親密になって行く。
徳川家光將軍1623＝16歳 イバニ断交・1624＝17歳 寛永寺創建・1625＝18歳 人身売買禁止1626＝19歳	公家衆が女御御殿拝観して感嘆。上洛した秀忠と対面、続いて上洛の將軍家光と対面後、女一宮を生み、*中宮に冊立される。女二宮を出産。上洛した秀忠と対面、続いて上洛の將軍家光と対面後、天皇と二条城行幸。以後幕末まで、非常時除いて天皇が禁中を出ることも、將軍の上洛も止む。この年、幕府が中宮御所法度制定。_皇子(高仁親王)を出産、幕府は天皇の讓位を承諾するが、高仁親王が夭折して、讓位を止め、再び皇子を出産、八条宮智仁親王の養子分となるが、またも夭折。天皇が再び讓位の意向を幕府に伝える。女三宮を出産。女一宮が興子内親王となり、_家光の乳母ふく(春日局)参内後、天皇がついに、興子内親王に讓位したため、院号宣下され東福門院となる。幕府も追認し、*興子内親王がとして明正天皇が即位、上皇とともに、新造御所へ移り、以後、国母として、後宮を差配。
寛永禁書令・1630＝23歳 糸割符拡大・1631＝24歳 徳川秀忠没・1632＝25歳 鎖国令始・・・1633＝26歳 鎖国令Ⅱ・・・1634＝27歳 東照宮完成・1636＝29歳 島原の乱始・1637＝30歳	この年、梅宮が鷹司教平と婚姻。女五宮を出産。この年、光子に素鷲宮(後光明天皇)が誕生。菊宮を出産後、疱瘡を患うも回復。菊宮が夭折。家光参内。光子に今宮が誕生すると養子とする。この年、梅宮が(皇女唯一の)離縁となる。麻疹を患う。女二宮が近衛尚嗣と婚姻。この年、隆子に秀宮(良仁親王)が誕生。宣下で女三宮が昭子内親王となる。
寛永飢饉始・1640＝33歳 家光鎖国完成1641＝34歳 初の高札・・・1642＝35歳 寛永飢饉終・1643＝36歳 明滅亡・・・1644＝37歳 ・・・・・・1645＝38歳	この年、梅宮が一条文守により剃髪し大通文智となる。幕府が内裏造営準備し、春日局を派遣、この年、文智が修学院に草庵(円照寺)を結ぶ。以後も手厚く庇護。内裏上棟し、明正天皇還幸。儲君となった素鷲宮を養子とし、宣下で紹仁親王となったことから、明正天皇が讓位し、紹仁親王が後光明天皇として即位した後も、国母のままで、宣下で女五宮が賀子内親王に、今宮が幸教親王となり、幸教親王は得度(尊敬)。賀子内親王が二条光平と婚姻。
・・・・・・1647＝40歳 市中諸法度・1648＝41歳 慶安御触書・1649＝42歳	この年、尊敬法親王が江戸上野東叡山に入る。後水尾上皇とお忍びで長谷へ御幸。後水尾上皇・昭子内親王らと岩倉へ御幸。後水尾上皇・明正上皇・昭子内親王らと長谷へ御幸し競馬を見物。以後も毎年長谷に御幸。
徳川家光没・1651＝44歳 承応事件・・・1652＝45歳 野郎歌舞伎始1653＝46歳 新利根川完成1654＝47歳	仙洞御所に後光明天皇の行幸を受けた後、後水尾上皇が落飾。女二宮が死去。良仁親王が元服。国子に高貴宮が誕生。_後光明天皇が死去したため、法皇が高貴宮を後光明天皇の養子に定めた上、自ら良仁親王の中継相続を内定して、幕府の了承を受け、養子とした良仁親王が踐祚して後西天皇となり、上棟した新造内裏に、後西天皇が還幸して、即位。この年、文智(円照寺宮)が大和国八島に移住。_なお国母の地位続く。
明暦の大火・1657＝50歳 人身売買禁止1658＝51歳 ・・・・・・1660＝53歳 清帝国始・・・1661＝54歳 松平信綱没・1662＝55歳 殉死の禁止・1663＝56歳	高貴宮を猶子とし、宣下により、識仁親王となる。完成した修学院離宮に、法皇と御幸。京都大火で岩倉御殿に避難後、一条邸に移る。この年、新造内裏木作始。女五宮の娘が徳川綱重と婚姻。内裏上棟後、女院御所木作始。*後西天皇が讓位し、識仁親王が靈元天皇として即位。以後、没するまで国母の地位続くことになる。新造女院御所還幸。法皇・明正上皇・後西上皇と長谷御幸、続いて修学院御幸。
・・・・・・1664＝57歳 諸宗寺院法度1665＝58歳 酒井忠清大老1666＝59歳	発願して難波の光雲寺を京都南禅寺町に移建し、念持の釈迦牟尼仏像を寄付して本尊とする。この年、女二宮の娘好君が伏見宮貞致親王と婚姻。_多くの人たちに小袖を下賜すべく、毎年雁金屋に膨大な注文を出し続け、この間、幕府が度々儉約令を出すも意に介さず、この道楽は没するまで続く。
ジャクシャインの乱 1669＝62歳 ・・・・・・1670＝63歳 ・・・・・・1671＝64歳 東西海運確立1672＝65歳 越後屋わづン 1673＝66歳 ・・・・・・1674＝67歳 談林派俳諧・1675＝68歳	この年、文智(円照寺宮)が大和国山村に移住。本院御所、続いて女院御所で踊り見物。この年、本院御所、続いて女院御所で踊り見物。京都大火で女五宮邸に避難後、一条邸に移る。法皇は新造なった仙洞御所還幸。新造なった女院御所に還幸し振舞い。昭子内親王が死去。京都大火で明正上皇が女院御所に避難。靈元天皇が新造内裏に還幸。後西上皇が新造御所に還幸。明正上皇が九条邸に移る。
・・・・・・1676＝69歳 ・・・・・・1677＝70歳 藤十郎登場・1678＝71歳	病を発症。明正上皇が新造御所に還幸。仙洞・女院御所が焼失し女五宮邸に避難。_病癒えず所々で祈祷、家綱の見舞いの使者酒井忠能続いて輪モ寺宮上洛。家綱から医師井上玄微、続いて医師山本友仙が派遣される。法皇が新造なった仙洞御所に還幸後、新造なった女院御所に還幸。*重病となり、輪モ寺宮上洛、続いて老中稲葉正則上洛のなか、没した。